



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2013年11月②発行

高齢者インフルエンザ予防接種の 制度変更になりが続き・・・！！



京都市が65歳以上の京都市民に対して、接種料金を補助しています。これまで自己負担は1500円でしたが、**2000円**になりました。

問題は、市民税非課税世帯の方は無料ですが、これまでは医療機関の窓口で、介護保険料納入証明書や市・府民税課税証明書を示せば、対象とみなされましたが、今回から、北区役所の西側にある保健センターに申請をして『**自己負担証明証**』を発行してもらわなくてはならなくなりました。

補助を受けるために、わざわざ、保健センターに行かなくてはならないのは、高齢者の皆さんにとっては、困難な方も多くあります。郵便での申し込みもできますが、切手を貼った封筒を同封しなくてはならないことや、書面の記載も慣れないと大変です。

「保健センターに行くのにタクシーを乗っていくぐらいなら、補助なしで2000円で受けた方がましだ」「デイサービスの利用者さんから相談があり全員の申請を事業所の方が代行した」など、元の制度に戻してほしいと声がたくさん寄せられています。

玉本市議は高齢者のインフルエンザ予防接種の制度を複雑にして、接種の手控えになる可能性があり、問題であること。元の制度に戻すか、自己負担証明証を最初から発送するよう求めました。

実施期間は平成25年10月15日～平成26年1月31日

★尚、市民税課税者 所得金額100万円超125万円以下の方は1500円、100万円以下の方は1000円の負担金になります。



来春は京都府知事選挙です。

京都民医連会長で小児科医の尾崎望さんが、知事選挙に向けて立候補を表明されました。

尾崎先生は、小児科医として、障害児の子どもたちの成長、発達を守る運動を、長年取り組んで来られました。

保護者の労働環境が低賃金、長時間労働の中で、子どもたちの健康や成長に影響が出ていることや競争社会の中での生きずらさ、深刻化する貧困の問題など、本人の努力だけで解決できないことであり、住み続けられる京都の実現を呼びかけています。



プロフィール

1954年10月4日神戸市生まれ。59歳。京都大学医学部卒業。小児科医として京都民医連の各病院・診療所に勤務。現在、京都民医連会長。

つぶやき： 2日は高3息子の高校の保護者会企画で、奈良の信貴山のほのか村に行きました。ミカン狩りもしましたが、そんなに食べられるものではありませんね。小動物にふれあい、美味しいピザを食べ、名



前の通り、ほのぼのする所でした。いよいよ、保護者会などの活動も終わりに近づいてきました。少し寂しさも感じるこの頃です。

いよいよ受験シーズン

アポイント

高校3年生の息子の同級生の中には、推薦入試やAO入試などの形式の試験が始まっており、進路が決まったという方も出てきました。

また、来年度から京都の公立高校の受験の方法が大きく変わります。高校入試は年々複雑に変更されてきましたが、ついに長年継続されていた『総合選抜制度』がなくなります。いわゆるバス停方式と言われていて、第一希望の高校で、合格しなくても、合格点ラインまで取得していれば、他の近くの高校に合格します。つまり、不合格者をなるべく出さないシステムだと思います。それを来年度入試から、受験した高校がたまたま、希望者が多ければ、点数は取れていても、他に回ることなく、不合格になってしまいます。そして、だんだん学校のランク付けがされ、成績によって、遠い高校を選択するということが起こってきます。私は大阪出身ですが、同じようになるかと思うと本当に残念です。

「15の春を泣かせない」京都の良さを無くさないために、知事選挙がチャンスです。子ども達の未来のために頑張ろう！

